

入門編（温暖地版）・
蒸暑地等の既受講者向け

エネルギー消費 50%削減を目指す住宅設計

準寒冷地版・自立循環型住宅設計セミナー

平成 24 年 7 月、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構から『準寒冷地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』が発行されました。『準寒冷地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は、準寒冷地（Ⅱ、Ⅲ地域）を対象としています。セミナーでは、エネルギーを実現するための省エネルギー要素技術と設計手法の具体的な特徴と注意点や、住宅全体の省エネルギー効果を数値で容易に計算する方法など、基本的な考え方を中心としたポイントを講師によりわかりやすく解説します。入門編を受講された方々にご参加いただきたく、ご案内いたします。

●日 時 平成 25 年 10 月 22 日（火）13：00～17：00 受付開始 12：20

●会 場 仙台市戦災復興記念館 5階会議室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号/TEL：022-263-6931

アクセス <http://www.stks.city.sendai.jp/hito/WebPages/sisetu/sensai/index.html>

●講 師 南 雄三氏 住宅技術評論家


●内 容



I	自立循環型住宅と省エネルギー
II	自立循環型住宅の設計プロセスと要素技術の概要
III	自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）
	1) 自然風の利用・制御 2) 昼光利用
	3) 太陽光発電 4) 日射熱の利用
	5) 屋根空気集熱式ソーラーシステム
	6) 太陽熱給湯
	建物外皮の熱遮断技術（要素技術の適用手法・2）
IV	1) 断熱外皮計画 2) 日射遮蔽手法
V	省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）
	1) 暖冷房設備計画 2) 換気設備計画
	3) 給湯設備計画 4) 照明設備計画
	5) 高効率家電機器の導入
	6) コージェネレーションシステムの導入
	7) 水と生ゴミの処理と効率的利用
VI	省エネルギー効果の評価と設計における活用

★ テキストはセミナー受講者のみに頒布。テキストは市販されていません。★

受講料	フォーラム会員 7,000 円・一般 8,000 円。各テキスト代・税込。 ※テキスト持参で、受講のみの方は受講料として会員 3,000 円、一般 4,000 円。 ※使用テキスト「準寒冷地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン」 ※テキストのみの販売や貸与は行っていません。
受講資格	仙台開催（10月3日入門編）、もしくは他地域開催の入門編（温暖地版）・蒸暑地等の既受講者
定員	80名 定員になり次第締め切り
申込	所定の申込書にて申込みください（裏面）

主催：  住まいと環境 東北フォーラム

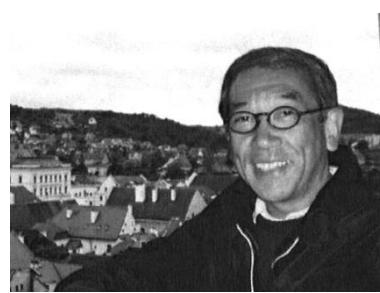
準寒冷地版・自立循環型住宅セミナー 申込書兼受講票

住まいと環境 東北フォーラム FAX: 022-221-9243 (24 時間受付)

申込み内容		事務局使用欄
<p align="center">参加希望コース(参加コースに☑)</p> <p>★フォーラム会員 1社2名まで。</p> <p><input type="checkbox"/>①準寒冷地版・テキスト必要: 7,000 円</p> <p><input type="checkbox"/>②準寒冷地版・テキスト不要: 3,000 円</p> <p>★一般(非会員)</p> <p><input type="checkbox"/>③準寒冷地版・テキスト必要: 8,000 円</p> <p><input type="checkbox"/>④準寒冷地版・テキスト不要: 4,000 円</p> <p>テキスト必要の受講者には当日テキストを配布します</p>		<p>【 受 講 票 】</p> <p><input type="checkbox"/> 左記の参加者について受付完了しました。当日はこの用紙をご持参ください。</p> <p><input type="checkbox"/>①フォーラム会員: 準寒冷地版・テキスト必要</p> <p><input type="checkbox"/>②フォーラム会員: 準寒冷地版・テキスト不要</p> <p><input type="checkbox"/>③一般: 準寒冷地版・テキスト必要</p> <p><input type="checkbox"/>④一般: 準寒冷地版・テキスト不要</p> <p><input type="checkbox"/> 誠に申し訳ありませんが、定員に達したため、受付できませんでした。またのご機会にご参加ください。</p> <p>*****</p> <p align="center">※※受講者への連絡事項※※</p> <p>① 受講料参加費は当日受付にてお支払いください。 <u>釣銭のないよう</u>にご協力下さい。</p> <p>② テキスト不要の受講者は、当日テキストを忘れずにご持参下さい。当日の販売や貸与はありませんのでご注意願います。</p> <p>③ テキスト必要の受講者が欠席した場合でも、後日テキストの発送はいたしません。</p>
フリ 氏 名:	がな 名: 様	
勤務先名:		
部署・役職:		
勤務先住所: 〒		
TEL:		
FAX: 受講票の送付先となるので必ず記入ください		
E-mail:		
修了証: 希望する・希望しない 希望者にはセミナー終了後に主催者発行の修了証をお渡し。		

『準寒冷地版 自立循環型住宅
への設計ガイドライン』は、セ
ミナー受講者のみ入手可能！

----- 南 雄三 住宅技術評論家 -----



昭和24年東京生まれ。明治大学経営学部卒省エネ・エコハウスの学術的な研究成果を独自のフィルターにかけながら住宅業界、消費者に伝達していく住宅技術評論が本業だが、断熱材メーカーに在籍していた間に工務店業界と深く関わり、その住宅産業を知り尽くした目で住宅産業全般のジャーナリストとしても活躍、工務店業界では「お目付役」的存在。最近では自立循環型住宅やCASBEE戸建など、公的なエコ活動の普及に注力し、全国各地で講演する他、執筆活動をしている。住まいと環境 東北フォーラム会員。
公式HP 住楽者 <http://www.t3.rim.or.jp/~u-minami/> より抜粋